



- 物があふれない収納設計
- 極端な暑さ・寒さを感じない家
- インテリアが映えるオシャレな空間
- 家族それぞれの個室



元の家の形を生かしつつ、外壁は甘くない
グレージュカラーで洗練された雰囲気

いい家は、人を変える! リノベで生まれ変わった家族の暮らし



SORAデザイン



before
モノがあふれてしまい、人もモノも居場所が定まらず居心地がよくなかったという以前の住まい

before



after

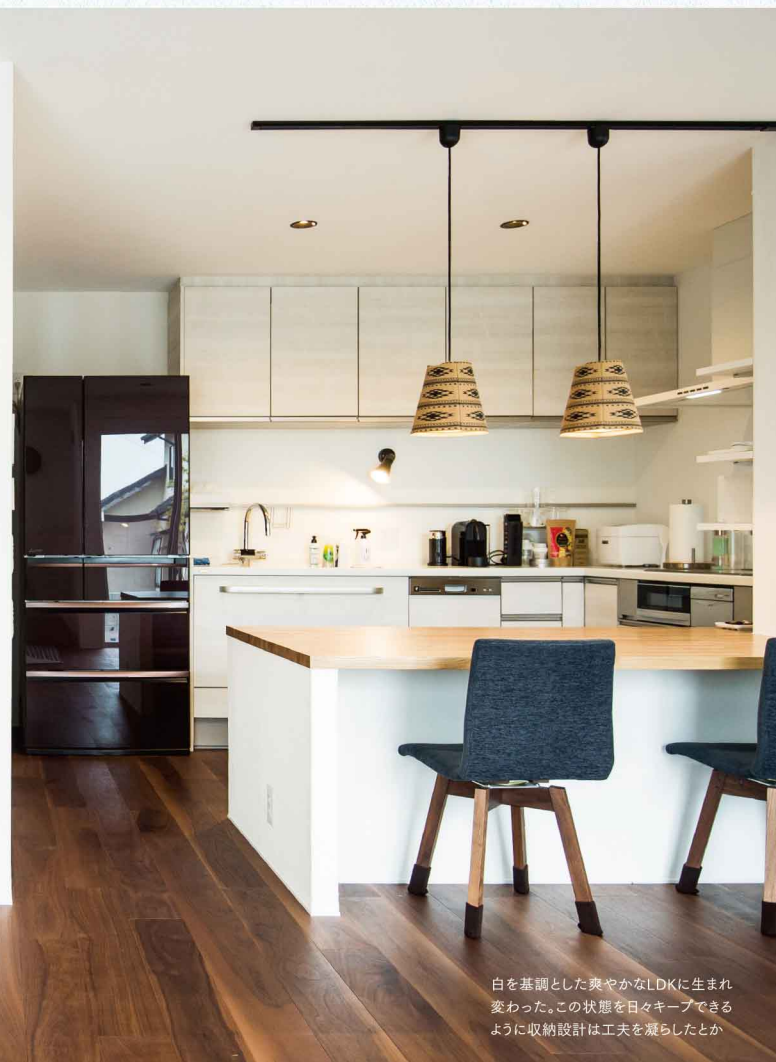


どう使うかはアイデア次第
余白を残したゆとり空間。

扉を開けた瞬間に広がる、土間とも室内とも呼べるこの空間が家全体にゆとりを生んでいる



熊本市
北区内住
T様ご家族
住まい



白を基調とした爽やかなLDKに生まれ変わった。この状態を日々キープできるような収納設計は工夫を凝らしたとか

ま。家族4人が心地よく暮らせる日々を求めて、家をどうにかしたいという思いに駆られる中、出合ったのが「SORAデザイン」でした。「こんなオシャレな家に住みたい!ここにお願したい!」と居ても立ってもいられず、すぐに電話を入れたことを覚えています。とはいえ、新築から17年。一般的にはまだ建て替えには早い時期。「当初は建て替えるか、増築するか、はたまたリノベーションするのか...その答えもわからないままでした」と奥さまは振り返る。そうして2年の月日が流れ、いよいよTさん一家は住まいのテコ入れを決意。「SORAデザイン」との話し合いを重ねた結果、最終的には元々の家の土台を生かしたリノベーションのプランにたどり着く。一家は一時的にアパートに住まいを移し、完成を待った。「その時の引越してモノを処分して、それでもまだ多くて...あの引越しても今思えばモノとの付き合い方を考える、いいきっかけになっていました」とご主人は柔らかな表情で語る。

「天嫌だった家が、大好きな場所に生まれ変わるなんて思いもよみませんでした。そう家づくりを振り返るのは、昨年17年間ともに過ごした住まいをリノベーションしたTさんの奥さま。ご夫妻が結婚当初に建てた以前の住まいは、家族が増えるに従って次第にライフスタイルにそぐわなくなってきたしまったのだとか。「子どもの洋服や雑貨など、とにかく家の中はモノであふれかえっていたんです...」と奥さま

モノと人の居場所を求めて 17年目の勇気ある決断

階段下の何気ない空間も、姉妹にとっては想像力を掻き立てる大切な場所に





温かみのある木の素材感とスケルトンのクールな造形のギャップがたまらない階段は、もはやこの家の“顔”

たわいなくおしゃべりで
日常の合間にひと呼吸。



かつて階段だった場所は、ご主人の書斎に変身。「階段を部屋にしてしまおう発想に驚きました」とご主人もご満悦



マルチに働くカウンターは
日々を楽しむ家族のおへそ。

ダイニングテーブルを兼ねた幅広いカウンターは食卓やワークスペース、料理を置くスペースにとその用途は多彩



上手に弾けても、間違っても気にならないのは自分だけの部屋だから。時には家族を招いてプチ発表会も♪



料理上手な奥さまは機能重視でシステムキッチンを採用。カウンター下も造作の収納を設けて抜かりなく



構造から「住みこなし」まで
住まい手を豊かに導く家

「SORAデザインは、普段は新築を主とするビルダーなのに、リノベーションを引き受けてもらえた私たちは本当にラッキーだったね」とご夫妻は顔を見合わせる。同社の仕事ぶりは見た目を綺麗にして使い勝手をよくする、という一般的なリノベーションとは、一味もふた味も違っていたようだ。「私たち家族のライフスタイルから性格まで考慮した上で、家そのものはもちろん、そこから始まる暮らし方まで

で整えてもらえました」と語る奥さま。その言葉が意味するものは――。たとえば年間通して心地よく暮らせる断熱対策や基礎の強度などハード面の見直しから、キッチンの掃除の仕方や省エネに繋がるエアコンの使い方、デッキの手入れのタイミングや方法など、一見すると日常の些細な心掛けまで。それらは家に守られているという深い安心感につながる。ともに日々の暮らしを整え、家への愛着を育てていくための大切なポイントだ。「住みこなし」への丁寧なアドバイスは「家づくりの後も施主の暮らしづくりをサポートしたい」と願う同社の代表の信念の表れに他ならない。「以前の家は本当に住みにくい……と思っていました。でも、元々あった間取りや壁をうまく生かしてもらったことで、実は案外よかったのかも？」と思えてきたりして（笑）」と奥さまは笑う。「家族が育ってきて、それぞれの趣味や好きなものが明確になってきました。それぞれが落ち着いて物事に取組めるよう、個室を作れたのはよかったです」。そう話すご主人の顔は晴れやかだ。



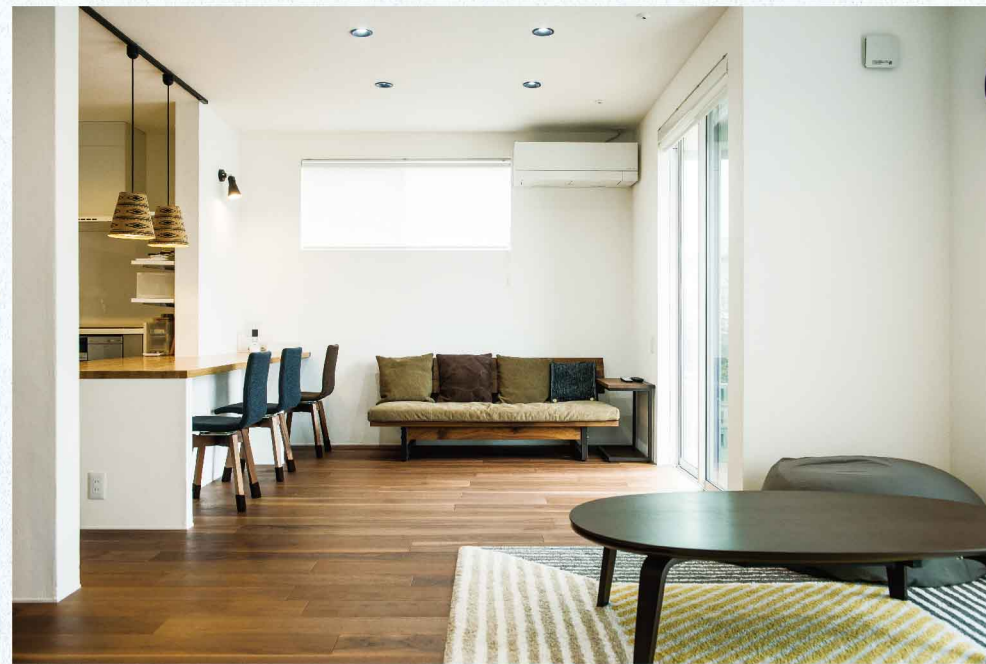
favorite space

【 エントランス 】

軒のある玄関ポーチだった空間を室内に取り込むことで生まれたエントランスの存在感は想像以上。階段と照明だけでセンス良くまとめたギャラリーのような空間に

まわる光と遊ぶ自由な空間
日常にひとさじの特別感を。

ノベーションという方法で家を住み替えたTさん一家は、家はもとより住まい手の暮らし方や心の持ちようまでも鮮やかに塗り替えていた。ふたりの姉妹が成長するにしたがって、この暮らしの変化はその心にも大きな財産を育んでくれるに違いない。



左上／手入れをするたびに愛着が増すデッキ。右上／一生そばに置いておきたいと思える家具を眺めるLD。右下／洋服はクローゼットに収まる分だけ決めて。左下／以前和室だった場所は寝室に

日々の暮らしが心地良くなれば
その先に続く未来はモット豊かに。

住まいとともに変わる家族
目の前の暮らしが財産に

リノベーションをきっかけにすべての持ち物の見直しを図ったことで、その暮らしぶりは随分と身軽になったというTさん一家。「家が変わるとこんなにも毎日が変わるのかと自分でも驚いています。外に出ることばかり考えていたのに、今は家で過ごす時間が楽しくて仕方ないんです」と話す奥さまの言葉がリノベーションの成功を物語る。「以前は人を呼ぶ気になれませんでしたでしたが、今では少し整えるだけでいつでも人が呼べるのがうれしくて」と声を弾ませる。そんな心のゆとりが、慌ただしい日常にどれほどの豊さを育んでくれるかは計り知れない。リ

